

事例 No.	105	人口規模	30万人以上	地域ブロック	中国	事業タイプ	その他	事業主体	地方公共団体												
事業名	子育て支援ボランティア(キラキラサポーター)養成事業及び(当該ボランティアによる)声かけ訪問事業																				
実施地方公共団体名	福山市(広島県)																				
特徴・ポイント	(1) 無償のボランティアによる、地域における子育て支援活動 (2) 関係団体から無償で講師派遣を受けて、ボランティア養成講座を実施 (3) 市の保健師と連携して、乳児のいる家庭へ訪問しての声かけの実施や、子育てに関する情報提供 (4) 市の実施する母子保健事業や地域における子育て支援行事等への参加・協力																				
事業のねらいと内容	【ねらい】 地域において、子育て中の親に対して子育てに関するさまざまな情報を提供したり、子育て中の親の身近な話し相手(相談相手)となる無償のボランティアを市内の各小学校区毎に養成し、それらが行政と連携した活動を展開することで、親が育児に不安を抱えた状態で孤立することを未然に防ぎ、親と子の健やかな成長を導いてゆく。 【内容】 (1) 子育て支援ボランティア養成講座: 講座の受講希望者を市民から公募(子育て経験者又は有資格者など)/講座は全10回で構成され、当該講座を8回以上受講した者を子育て支援ボランティアとして登録/講座内容は、子育てに関する知識の習得や、市の実施する母子保健や子育て支援に関する事業についての学習・見学を実施/養成講座終了後のボランティアに対する、外部の専門講師によるフォローアップ研修の実施 (2) 声かけ訪問などのボランティア活動: 養成後のボランティアが市の保健師と連携し、乳児のいる家庭の親(保護者)の身近な話し相手(相談相手)になるとともに、育児に関する情報提供を行う。対象家庭へ電話をしたり、家庭を訪問しての声かけ活動など/市の実施する乳幼児健康相談及び離乳食講習会などの母子保健事業へ参加して母子への声かけの実施/市の実施する子育て支援関連行事への参加・協力																				
導入・実施の背景・経緯(事業の必要性)	(1) 親(保護者)と子どもを取り巻く子育て環境が変化する(少子化、核家族化、女性の社会進出など)なかで、1人で育児に関する不安を抱えている親(保護者)が生じている (2) 市や民間で実施しているさまざまな子育て支援に関する事業やサービスが十分に活用されていない (3) 「健康ふくやま21」(本市における、健康増進法に規定する市町村健康増進計画)において「安心できる母子保健」を重点目標にして取組む				導入・実施に際して苦労した点 (1) ボランティアの活動と、行政が取組む母子保健・子育て支援活動の連携のあり方(連絡・調整、役割の分担、責任の所在など) (2) ボランティア活動の広がり(内容の充実)とその自立性・自主性の確保 (3) ボランティア活動を支援するための、行政内部での連携方法																
事業の効果	(1) ボランティアの養成状況(2007.3.31現在) 市内78小学校区中65学区に配置済(総数183人) (2) ボランティアの活動状況(2007.2.28現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>04年度</th> <th>05年度</th> <th>06年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>同行訪問(訪問した家庭数)</td> <td>83家庭</td> <td>59家庭</td> <td>58家庭</td> </tr> <tr> <td>声かけ訪問(延べ訪問回数)</td> <td>62回</td> <td>171回</td> <td>166回</td> </tr> </tbody> </table> 同行訪問は、保健師と同行しての子育て家庭への訪問活動 声かけ訪問は、同行訪問後にボランティアのみで行う子育て家庭への訪問活動					04年度	05年度	06年度	同行訪問(訪問した家庭数)	83家庭	59家庭	58家庭	声かけ訪問(延べ訪問回数)	62回	171回	166回	実施にあたってのネックをどのように解決したか ・ 専門的知識を持った者を講師とする、養成講座カリキュラムの編成「健康ふくやま21」を推進する関連団体(医師会、歯科医師会など)及び行政内部(母子保健・子育て支援関係課)からの講師派遣 ・ ボランティア活動の内容の充実(どういった活動をどのように展開していくか)行政の取組む母子保健事業などへの参加要請、ボランティア内のグループを単位とした独自活動の実施 継続課題 ・ 養成講座の実施及びボランティア活動に伴う費用の確保 事業開始後3年間は国庫補助金による事業費の確保(以後は一般会計からの拠出)。また、関係機関から養成講座の講師の派遣を受ける際は無償 ・ ボランティア組織との関係構築(連携方法、自立性・自主性の確立) ボランティア登録者全員を「キラキラサポーターの会」として構成(会長ほか役員を選出、会の内部での地域毎のグループ編成、役員会等を通じた行政との連絡・調整・連携) 継続課題				
	04年度	05年度	06年度																		
同行訪問(訪問した家庭数)	83家庭	59家庭	58家庭																		
声かけ訪問(延べ訪問回数)	62回	171回	166回																		
事業のアピールをどのように行なったか	(1) 市の広報誌(毎年1回)、市のホームページの活用/(2) 市の母子保健事業関係課及び子育て支援関係課の窓口でのボランティアに関するチラシの設置/(3) 母子保健事業・子育て支援関連行事においてボランティア活動に関するチラシの配布																				
事業のアピールをどのように行なったか	(必要な協力先) (1) ボランティア希望者 (2) 母子保健及び子育て支援に係る関係団体(医師会、歯科医師会、薬剤師会、PTA連合会ほか) (確保策) (1) 市の広報、HP、その他広報手段による公募、PTA連合会を通じての募集 (2) 「健康ふくやま21」の推進に係る関係団体に対し、関係者の派遣(講師等)を依頼、取組についての協力依頼																				
概算事業費(千円/年度) 平成18年度予算	141千円(一般会計のみ)			問い合わせ先		所属部署: 福山市保健福祉局保健部総務課及び健康推進課 TEL: (084)928-1164(総務課) (084)928-3421(健康推進課)(直通) FAX: (084)928-1143(総務課)															